

# 心のとびら

弥富市立桜小学校  
道徳通信  
No.5  
平成26年7月4日

## 地域に働きかけるあいさつ運動

6月17日（火）～27日（金）にかけて桜小学校の5～6年生が、市役所南側のスクランブル交差点においてあいさつ運動を行いました。「あいさつは、相手の心のとびらを開く鍵となる第一歩」と考え、桜っ子が、家族・友だち・学校の先生だけでなく、隣近所の方や地域の方々にも勇気を出して、自分から進んであいさつができるようにしたいと願って取り組みました。

児童会が考えた、桜小学校のあいさつのキャッチフレーズは、右の「あいさつは三文の徳」です。

以下に、子どもたちの感想を紹介します。

わたしは、最終日の担当でした。最初は、ちゃんといろいろな人に、「おはようございます」と言えるか心配でしたが、ちゃんとできてよかったです。おばあさんが、車に乗っていたのに、わざわざ窓を開けて、笑顔でにこっとあいさつをしてくれましたので、そのときは、とてもうれしかったです。

わたしがあいさつをしたら、サラリーマン風のひとが、あいさつを返してくださったので、とてもうれしくて、興奮しました。

みんなも、笑顔で明るく、地域の人にあいさつができていたので、「さすが、桜小の5・6年生はすごいなあと思いました。」

あいさつ運動を通して、地域のみなさんが笑顔であいさつをしてくださったので、とてもうれしかったです。

（6年女子）

ぼくは、地域の方々へさわやかなあいさつができたと思います。通る人を見かけたら、なるべく早く、大きな声であいさつすることができたし、また、あいさつリーダーとして、スピーチをととても大きな声で、はっきりと何を言っているかが分かりやすいようにできました。

あいさつしても、無視して冷たい人もいたけれど、笑顔であいさつを返してくれる人もいました。

「少しでもこの弥富を温かい市にできたのではないか」と、ぼくは、そう思っています。

もう、あいさつ運動は終わってしまいましたが、これからも地域の人とすれちがったら、あいさつをしたいしたいと思います。



（6年男子）



- ① みんなの笑顔で仲良くなる。
- ② 温かな街になる。
- ③ 心がさわやかになる。

あいさつ運動は、みんなはりきって、がんばってやっていたので、地域の人もあいさつをしてくれました。「元気にあいさつをしてくれると、気持ち良かったです。」

地域の人が元気になってくれたし、自分も元気になれたので、また、やりたいと思いました。

目を見てあいさつをすると、あいさつを返してくれるので、とてもうれしかったです。

これからも、地域の人にあいさつしてみようと思いました。（6年女子）



ぼくは、地域の人にあいさつ運動をして、いいことがありました。それは、ぼくが、「おはようございます」と言ったら、「おはようございます」と、あいさつを返してくれ、とても気持ち良かったことです。

それと、車の窓をわざわざ開けて、「おようよう」と言ってくれたことです。とてもうれしかったです。

あいさつをすると気持ちがよくなると気付いたので、「これからもまたやりたいなあ」と思いました。



（6年男子）

# 心のとびら

弥富市立桜小学校  
道徳通信  
No.6  
平成26年7月4日

わたしは、あいさつをすると、とても気持ちよく一日を過ごせることが分かりました。地域のひとが、私たちよりも先にあいさつをしてくれたことが、とてもうれしかったです。

「がんばってね」などと、声をかけてくれた人もいました。

「わたしたちの考えた、あいさつは、三文の徳ということが、とても大事なことなんだ」ということが、改めて思いました。

わたしたちが、あいさつをがんばったので、自分も相手も気持ちよく、すっきりと一日を始められたと思います。

あいさつ運動が終わっても、自分から地域の人にあいさつができるように、これからもがんばります。

(5年女子)

地域の人にあいさつ運動をして、「おはようございます」と、朝からあいさつすることは、とても気持ち良かったです。あいさつをしても、返してくれない人が多かったけど、自分からあいさつができて良かったなと思います。

最初は、声が出なくて、小さい声だったけど、街の人々が来るにつれて、大きな声であいさつができるようになって、良かったです。これからは、最初から大きな声をだそうと思います。地域の人々が、ほんの少しでもあいさつを返してくれたことが、とてもうれしかったです。

これからは、桜小学校のあいさつ運動のときだけでなく、ふだんでも大きな声で元気よく、あいさつをしたいと思います。

(5年女子)

わたしは、この「地域に働きかけるあいさつ運動」を通して、自分からあいさつができるようになりました。目標は、50人以上でした。もちろん50人以上の人に対して、あいさつができました。

最初は、わたしは、あいさつをするのが苦手なもので、少し不安でした。だけど、前ヶ須Bの班の人たちが、みんな声が大きくて、先生方からも、「今までの中で一番大きな声だった」と言ってもらえて、すごくうれしかったです。

これからも学校の友達や先生、家族だけでなく、地域の人、近所の人、スクールガードの人にもあいさつをしていこうと思います。

(5年女子)

あいさつ運動で地域の人や学校のみんなにたくさんあいさつをすることができました。あいさつをすると、心がさわやかになり、笑顔になるということに気がきました。

知っている人にあいさつをするときは、少しはずかしかったけど、何十人もの人にあいさつができました。自転車に乗っている人、バスの運転手さんなど、いろいろな人から、「おはようございます」と、あいさつされて、とてもいい気分でした。

これからも、このあいさつ運動を生かして、いろいろな人にあいさつをしたいと思います。

(5年男子)



## ちょっといい話

「校長先生、A君がトイレに行きたいそうです」と、通学団長のBさんが教えてくれました。「うんこ、おしっこ、どっち？」と尋ねると、「おしっこ」という力ない声が返ってきました。

周囲を見渡して、あたふたしている様子が感じられたのか、ゴミ出しをされていた方が、「トイレですか？どうぞ・・・」と、優しい声をかけてくださいました。

助かりました。本当にありがとうございました。まだまだこの街には、人情に厚い方がいらっしゃることをしみじみとうれしく思いました。

Oさん、本当にありがとうございました。